

# 外郭団体ミッション遂行評価票

# 【令和元年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州輸入促進センター
-----	------------------

所管課	産業経済局 国際ビジネス政策課
-----	-----------------

団体に対するミッション
<p>小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>現在、AIMビルへの積極的なテナント誘致活動により、経営状況が安定化してきており、施設設備の老朽化に伴う大規模修繕費用の負担も踏まえつつ、今後とも健全経営の維持に努める。</p>

## ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	継続して積極的なテナント誘致活動を行い、ビル入居率の維持、向上に努めると同時に、単年度決算での黒字を今後も確保し続けることを目指す。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
ビル全体の入居率	90%	91%	90%	91%	89%	94%	89%	89%
当期純利益	192,307千円	212,508千円	180,927千円	136,782千円	130,000千円	138,943千円	130,000千円	130,000千円

## ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価	積極的なテナント誘致活動に取組んだ結果、金融機関や情報関連サービス業といった大型テナントが新規入居や増床するなどの成果を上げることができた。その結果、9期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。	市の評価	積極的なテナント誘致の結果、大型テナントの新規入居や既存テナントの増床を達成し、目標以上の入居率と9期連続の黒字化を達成したことは高く評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案）	新規テナント入居のための区画整備工事等を行うと共に、経営状況を勘案しながら、「AIMビル長期修繕計画」に沿って必要な修繕、設備投資を実施し、AIMビルの高い優位性や機能を維持する。令和元年度は非常用階段扉の電気錠への取替えや、LED化工事を行った。	団体への改善指導内容（案）	今後も引き続き、積極的なテナント誘致活動及び必要な改修やテナントサービスの強化に取組むことにより、新規入居・増床を図り、単年度黒字を継続することを求める。

## その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
不動産仲介業者等との情報交換を密にするなど、積極的なテナント誘致活動と既存テナントの増床を進めた結果、予定どおりの高い入居率と、黒字を確保することができた。	